

会議等の意見対応

■第4回策定委員会（9/4）

No	資料	主な意見・指摘事項	対応・方針
1	資料 1	太田川駅西の土地区画整理事業で進出予定の物流企業と都市拠点・広域交流拠点の定義の整合性を確認し、必要があれば修正したほうが良いのでは。 (嶋田委員長)	全体構想 P30 の都市拠点・広域交流拠点の方針の 2 項目目、「商業」を「産業」に変更しました。
2	資料 2 P62 他	各地域の写真は、現況なのか将来の整備イメージとなるのか。 (谷口委員)	地域の特徴を示す拠点や都市施設等の現況写真を掲載しました。
3	資料 2 P67 他	まちづくりの課題の表現が、問題と課題が混在しているので、整理・統一が必要ではないか。 (嶋田委員長)	表現を統一するため、記載内容が問題となっているものは課題になるように記載を修正しました。
4	資料 2 全般	アンケートの市民満足度の結果と課題の書きぶりに乖離があるように感じる。関連性が分かりやすいまとめ方が必要だと思う。 (富永委員)	現況と課題がつながるように、課題に記載があるにもかかわらず、現況に記載がないものは、現況に記載を追加しました。
5	資料 2 全般	課題に出てくる内容は、現況でも触れておくべきだと思うので、追記をお願いしたい。 (嶋田委員長)	
6	資料 2 全般	章番号のルールが統一されていないように感じるため、統一したほうが良いのではないか。 (濱田委員)	各地域の番号①～⑤を削除しました。
7	将来目標	将来目標は、具体的な駅名やコミュニティバスの名称、公園名などを書いた方が地域の特性が明確になるのではないか。 (谷口委員)	将来目標は公園などの名称を入れるなど、地域でイメージができるような目標の記載としました。
8	その他	地域別説明会での意見も本編に入れないと、課題と現況との整合が取れないのではないか。 (嶋田委員長)	地域別説明会等では新たに記載すべき課題がなく、整備についての要望等であったため、本編ではなく、参考資料として掲載します。
9	その他	今後まちづくりの方針を定めていく際は、優先順位を表現するため、記載の強弱を検討してはどうか。 (佐々木委員、嶋田委員長)	「進める」>「図る」>「検討」を目安として表現しました。

※資料番号、資料ページは第4回策定委員会の資料に対応